

『高大連携と能力形成』を発刊

このたび高崎経済大学産業研究所の共同研究プロジェクト成果報告書として『高大連携と能力形成』が日本経済評論社から出版されました。

本研究は、文部科学行政の変遷を辿りつつ、公立大学法人高崎経済大学と高崎市立高崎経済大学附属高等学校の高大連携事業を具体的に紹介するとともに、その他のプログラムとあわせ、内容を分析・検討したものです。地方都市における人材育成や能力形成、高大連携の意義、キャリア教育の課題等について、示唆に富んだ研究となっております。関係各方面で参照いただければ幸いです。

執筆者は、本学教員だけでなく、他大学の教員、群馬県内および他県の高等学校教員および関係者で構成されています。それぞれの執筆者が中心となって実施した、高大連携事業の実践がもとになっており、実践報告としても貴重なものとなっております。

本書の目次と執筆担当

- 序章 問題意識と本書の構成 (矢野修一)
- 第1章 高大連携 (田口哲男)
- 第2章 高大接続と大学の課題 (高松正毅)
- 第3章 群馬県における公立高校の歴史的変遷と特性・課題 (大島登志彦)
- 第4章 高大連携と基盤にした学校改革 (田口哲男)
- 第5章 大学の教育力を測る新しい指標の登場と教養教育の再構築 (児玉英明)
- 第6章 「主題を設定して行う学習」を通じたプレゼンテーション能力の形成 (船木鉄平)
- 第7章 就職支援の自主事業化について (久宗周二)
- 第8章 高大コラボゼミの相乗効果 (矢野修一)
- 第9章 高校教育における高大連携の効果 (長岡将之)
- 第10章 高大連携におけるファイナンシャル・リテラシー (平井裕久)
- 第11章 大学生による論理的表現力の伝授 (名和賢美)
- 終章 高大連携と能力形成の展望 (矢野修一)



高崎経済大学産業研究所編
『高大連携と能力形成』
日本経済評論社、2013年3月刊、本体価格 3500円

【高崎経済大学産業研究所について】

本研究所は、高崎経済大学が設立された1957（昭和32）年に設置され半世紀を超える歴史を持つ研究所です。その目的として、産業・経済の分析・研究を通じて学問的に貢献し、併せて地域産業・地域社会の振興・発展に寄与することを掲げています。また公開講座や講演会等の様々な事業を通じて、地域貢献に早くから取り組んできました。共同研究プロジェクト事業では、これまでに様々なテーマを取り上げ、その成果を出版してきました。

【本研究プロジェクトに関する問い合わせ先】

高崎経済大学産業研究所 電話 027-344-6267 電子メール sanken@tcue.ac.jp